

Naruto Translate Ep01 (Parte 01)

- 1- 〈昔、妖狐ありけり。〉
- 2- 〈そのキツネ九つの尾らり〉
- 3- 〈その尾、一度振らば山崩れ 津波立つ。〉
- 4- 〈これに困じて人ども、忍びのやからを集めけり〉
- 5- （忍び1）四代目が来るまで足止めをかけろ！
- 6- （忍び2）これ以上一步も里に近づけるな！
- 7- 〈僅か一人が忍びの者、生死を懸けこれを封印せしめるが、その者 死にけり。〉
- 8- 〈その忍びの者、名を・・・四代目火影と申す〉
- 9- こらナルト！何ちゅう罰当たりなことをしたんだ！？
- 10- 今日という今日は絶対許さんぞ！
- 11- （ナルト）お前らさ・・・お前らさ、あんなマネできねえだろう？
- 12- だけど、俺には出来る俺はすごいんだってばよ！
- 13- （忍び）大変です。三代目！
- 14- 火影様！
- 15- （猿飛）何じゃ？またナルトのヤツが何かしでかしでもしたか？

- 16- （忍び） はい。歴代火影様たちの顔岩に・・・
- 17- 恐れ多くも落書きを・・・
- 18- （忍び） 待って！
- 19- 訳ないってばよ！
- 20- （イルカ） こら ナルト！
- 21- （ナルト） 突然何すんだってばよ イルカ先生？
- 22- （イルカ） お前こそ授業中にやってんだ？
- 23- いいか？ナルト？お前は前回も前々回も卒業試験に落ちてるんだ。
- 24- いたずらしてる場合じゃないだろう。ばか野郎！
- 25- 今日の授業は変化の術の復習テストだ！
- 26- すでに合格している者も並べ！
- 27- （生徒たち） えええ！
- 28- 春野サクラ行きます！変化！
- 29- よし！
- 30- やった！
- 31- 《しゃんなろ！》サスケ君、見てくれた？
- 32- （イルカ） 次！うちはサスケ。
- 33- （サスケ） はい。
- 34- よし。
- 35- （イルカ） 次！うずまきナルト。
- 36- （シカマル） ったく しちめんどくせえ。
- 37- （いの） みんな あんたのせいよ。

38- 知るかよ。

39- (ヒナタ) 《ナルト君、が・・・がんばって》

40- 変化！

41- ツハツハツハ！どうだ？名付けて おいろけの術。

42- (イルカ) この大ばか者！くだらん術を作るな！

43- (ナルト) クソ・・・クッソ！

44- (イルカ) キレイにするまで家には返さんからな。

45- (ナルト) 別にいいよ！うちに帰ったって誰もいねえしよ。

46- ナルト。

47- 今度は何？

48- (イルカ) まあ ^{なん}何だ・・・それ全部キレイにしたら、今度、ラーメンおごってやる。

49- よし！俺さ 俺さ、頑張っちゃう！

50- 【参上！うずまきナルト】

51- (ナルト) ナルト。何で あんた所に落書きした？

52- 火影様が どういう人たちか分かってんだろ。

53- (ナルト) ^あ当ったり^{まえ}前じゃん。

54- 要するに 火影の名前を受け継いだ人ってのは。

55- 里一番の忍者だったってことだろ？

54- 特に四代目って、里を化け ぎつねから守った。

55- 英雄らしいし。

56- (イルカ) じゃあ何で？

57- (ナルト) この俺は いずれ火影の名を受け継いで

58- んでよ 先代のどの火影をも超えてやるんだ！

59- でもさ でもさ、里にみんなに俺の力を認めさせてやんだよ。

60- ところでさ。先生。

61- お願い あんだけど。

62- (イルカ) お代わり？

63- (ナルト) んにや。木の葉の額当てちっとやらして。

65- (イルカ) あ これか。ダメダメ。これは学校を卒業して

66- 一人前と認められた証しだからな。

67- お前は あした。

68- (ナルト) ケチ！

69- (イルカ) あアハハ・・・だから、ゴークル外してたな？

70- (ナルト) お代わり！

71- (いるか) では これより卒業試験を始め
る。

72- 呼ばれた者は隣の教室に来るように。

73- なお課題は分身の術とする。

74- (ナルト) 《ガン。よりによって 俺のい
ちばん苦手な術じゃねえか・・・》

75- 《でもさ でもさ、やってやるってば
よ!》

76- 分身の術!

77- (イルカ) 失格!

78- (ミズキ) イルカ先生。彼は身のこなしや
スタミナは優秀ですし

79- これでも、一応分身の術はできてます。

80- 合格にしてあげても・・・

81- (イルカ) ミズキ先生。みんな、最低でも
3人には分身してるんです。

82- でも、ナルトは たった一人。

83- しかも、これは足手まといになるだけで
す。

84- 合格とは認められません。

85- (トビオ) 一人前だね 俺。

86- (トビオの父) よくやった。さすが俺の子
だ。

87- (トビオの母) 卒業おめでとう、今夜はマ
マごちそう作るわ。

88- ^{じょせい}(女性1) ねえ。あの子。

- 89- （女性 2） 例の子よ。
- 90- （女性 1） 一人だけ落ちたらしいわ。
- 91- （女性 2） いい気味だわ。
- 92- （女性 1） あんなのが忍びに なったら大変よ。だって ホントはあの子・・・
- 93- （女性 2） ちょっと！それより先は禁句よ。
- 94- （猿飛） イルカよ。後で話がある。
- 95- （イルカ） はい。
- 96- （ミズキ） イルカ先生は決して 意地悪してるわけじゃないよ。
- 97- （ナルト） じゃあ、何で俺ばかり・・・
- 98- （ミズキ） ナルト君には ホントの意味で強くなってるほしいって 思ってるんだよ。
- 99- 親のいない者どうし。
- 100- （ナルト） でも・・・卒業しなかったんだ。
- 101- （ミズキ） 仕方がないな。君に とっておきの秘密を教えよう。
- 102- 【イルカよ・・・】
- 103 - 【何です？火影様】
- 104- 【お前の気持ちも分からんでもない。じゃが、ナルトも同じ。親の愛情を知らずに育ってきたんじゃない】
- 105- 【放せ！父ちゃんと母ちゃんが まだ戦てんだ！】

106- (ミズキ) イルカ先生！起きてください！

107- (イルカ) どうしたんです？

108- (ミズキ) 火影様の所へ集まってください。

109- どうやら、ナルト君が封印の書を持ち出したらしく。

110- (イルカ) な・・・封印の書ですって！？

111- (ナルト) えっと 最初の術は 「多重影分身」・・・

112- 何だよ！いきなり苦手な術かよ。

113- (ベッコウ) 火影様、今度ばかりはいたずらでは済まされません。

114- (イワナ) 封印の書は初代火影様が封印した危険なもの。

115- 使い方によっては・・・

116- (ヤジロベエ) もし里の外に持ち出されたら、それこそ一大事。

117- (猿飛) ナルトを連れ戻すのじゃ。

118- (イルカ) 〈どこへ行った？ナルト？〉

119- (ミズキ) 〈このことを里に言い広めその後ナルトを始末する。〉

〈そうすれば封印の書は俺のものだ！〉

120- (イルカ) こら！ナルト！

121- (ナルト) 見つかったか。

122- まだ術一個しか覚えてねえのに。

123- （イルカ） 〈ここで術の練習を？こんなに なるまで・・・〉

124- （ナルト） あのさ あのさ！これからすっげえ術 見せっからさ

124- それできたら、卒業させてくれよな。

125- この巻物の術を見せれば卒業 間違いねえんだろ？

126- （イルカ） 誰がそんなことを？

127- （ミズキ） ミズキ先生だってばよ。

128- 巻物のことも この場所もミズキ先生が・・・

129- （イルカ） 〈ミズキだと！？〉